

平成21年度

# 体験航海セミナー実施報告書

【趣 旨】 海に関する職業に関心を持つ青少年が、広島商船高等専門学校の練習船等での航海体験・船員体験を通して、働くことの意義を考える。また、瀬戸内海の水運や環境について学び、海や船舶に関する知識や技能を深める。

【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家

【共 催】 独立行政法人国立高等専門学校機構 国立広島商船高等専門学校

【期 日】 平成21年8月7日（金）～9日（日）

【会 場】 国立広島商船高等専門学校及び瀬戸内海海域

【参加者数】 10人（社会人1人、大学生1人、高校生1人・中学生7人）

【内容及び講師】

(1) 【講義Ⅰ】「航海にあたって」

国立広島商船高等専門学校 練習船「広島丸」 一等航海士 清田 耕司

(2) 【講義Ⅱ】「瀬戸内の自然とくらし」

有限会社ウィット 写真家 脇山 功

(3) 【講義Ⅲ】「夢の船出」

講師 藤井 誠

(4) 【講義Ⅳ】 「国立広島商船高等専門学校で学ぼう」(学校体験プログラム)

国立広島商船高等専門学校 商船学科 准教授 大山 博史

商船学科 准教授 辰己 公朗

(5) 【実習Ⅰ】「シーカヤック体験（海を知る活動）」

国立広島商船高等専門学校 練習船「広島丸」 一等航海士 清田 耕司

(6) 【実習Ⅱ】「操舵」「ロープワーク」「ワークショップ」

国立広島商船高等専門学校 練習船「広島丸」 船 長 大橋 孝治

機 関 長 茶園 敏文

一等航海士 清田 耕司

一等機関士 藤井 誠

有限会社ウィット 写真家 脇山 功

(7) 【実習Ⅲ】「船体運動性能測定」

国立広島商船高等専門学校 練習船「広島丸」 船 長 大橋 孝治

(8) 【実習Ⅳ】「保安応急法」「救命講習」「防火講習」

国立広島商船高等専門学校 練習船「広島丸」 乗 組 員

【日 程】

日程	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
8月7日（金）							受付	開会行事	講義Ⅰ 「航海にあたって」	実習Ⅰ シーカヤック体験 (海を知る活動)		夕食	シャワー	メイキング	交流のつどい	講義Ⅱ 「瀬戸内の自然とくらし」	自由時間	点呼・就寝（船内泊）
8月8日（土）	起床 点呼 体操 掃除	朝食	出港 見学	実習Ⅱ 操舵 ロープワーク ワークショップ			昼食	実習Ⅲ 船体 運動 性能 測定	入港 見学	実習Ⅳ 保安応急法 救命講習 防火講習		シャワー	夕食	講義Ⅲ 「夢の船出」	グループ活動 天体観測	ふりかえり・感想文	交流会	点呼・就寝（船内泊）
8月9日（日）	起床 点呼 体操 掃除	朝食	講義Ⅳ 国立広島商船で学ぼう (学校体験プログラム)	全体発表会		大掃除	昼食	閉会行事										

【企画・運営のポイント】

(1) プログラム内容について

海や船舶に関する知識や技能を深めてもらうと同時に国立広島商船高等専門学校の見学や模擬授業の体験を取り入れるなどして、海に関する職業に関心を持ってもらえるようにした。

(2) 運営について

プログラムや練習船内での生活において、班毎に広島商船高等専門学校の学生にボランティアとして関わってもらうようにした。

【活動の実際】

8月7日(金)

1日目の実習「シーカヤック体験～海を知る活動～」では、シーカヤックに乗り、瀬戸内の海の様子、水質のきれいな海で見る事の出来る指標生物であるアマモを観察することを通して、海的环境について学んだ。

講義「瀬戸内の自然と暮らし」では、瀬戸内の美しい情景の写真を見ながら、そこに暮らす人々の思いを学んだ。

(※指標生物：生育している地域環境条件の判定に用いられる生物種または群集 三省堂大辞林より)



(開会行事)



(航海にあたって 清田先生の話)



(船の船尾で 海水にまつわる実験)



(シーカヤック体験 ～海を知る活動～)



(船上にて脇山先生の講演 「瀬戸内の自然と暮らし」)



(レクリエーションと振り返り)

8月8日(土)

広島商船高等専門学校の練習船「広島丸」に乗り航海体験を行った。実際に操舵や監視活動をしたり、海上の気象観測をしたりすることによって、船を動かすにはたくさんの人が役割を分担し関わりあっているということを学んだ。



(甲板みがき)



(操舵体験)



(ロープワーク)



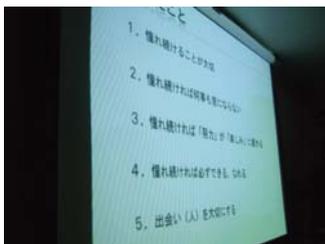
(ワークショップ)



(防火講習)



(保安・応急法講習)



(先輩による講話 「夢の船出」)

8月9日(日)

今回初めて、国立広島商船高等専門学校の模擬授業を体験した。授業では、船舶操船のシミュレーション体験を行い、船の操船についての理解を深めた。



(広島商船高等専門学校での模擬授業体験)



(私の体験航海の全体発表会)

## 【成果と課題】

### 成果

○実施後、将来の夢や職業・仕事に対する関心や意欲が高まった。

（アンケートより）

10人中6人（60%）が高まったと回答

具体的には「人のためになる仕事をしたい。」「就職をがんばる。」「自分の将来の夢のためにしっかりと勉強する。」といった意見があった。

○参加後、海や船舶についての知識や技能が深まった。

（アンケートより）

10人中7人（70%）が大いに深まったもしくは深まったと回答

「船での生活，操舵の難しさがわかった。」「船に関する知識が深まった。」

といった意見があった。

○知らないもの同士が，寝食（2泊3日）を共にすることで，人間関係の大切さや協力することの大切さを学ぶという意味では，貴重な体験となった。

### 課題

○参加者が参加しやすい魅力あるプログラムを立案することが必要である。